

荒川自然公園交通園リニューアル基本計画



01 背景と目的

荒川自然公園交通園は、平成7年の開園以降、遊びの中で交通ルールを学ぶ交通安全啓発の拠点として、区民を中心に多くの方にご利用いただいている公園です。

このたび、老朽化が進む施設の更新を図り、近年大きく変化している交通環境に対応した施設を整備するため、交通園のリニューアル基本計画を策定しました。

02 基本情報

荒川自然公園は、三河島水再生センターの下水処理施設を覆蓋した人工地盤上にあり、区内で最も大きな区立公園（61,068㎡）です。開園時期により「第1期」・「第2期」・「第3期」の3つのエリアから構成されており、このたび、第3期エリア（交通園）のリニューアルに着手します。

■案内図



■施設概要

- (1) 施設名称 荒川自然公園交通園
- (2) 所在地 荒川区荒川八丁目2番3号
- (3) 施設等 建築物（管理棟、乗り物置場、トイレ）、ゴーカート、自転車専用サイクルロード、一輪車及び補助付き自転車専用広場、豆自転車及び三輪車専用広場、練習広場、信号機、踏切、噴水広場、芝生広場等
- (4) 開園時間 通常期間：午前9時から午後5時まで

■荒川自然公園 地図・現況写真



03 利用者ニーズ調査結果

公園の利用状況、課題、再整備に向けて取り入れたい機能等のニーズを把握するため、アンケート調査及びワークショップを実施しました。

アンケート調査

	アンケート
対象者	公園利用者・荒川区在住者
実施期間	R6.7.5（金）～ R6.8.12（月）
回答数	871 件

ワークショップ(オープンハウス形式)

	日時	場所
第1回	令和6年9月30日(月曜日)	交通園内広場
第2回	令和6年10月14日(月曜日・祝)	交通園内広場

頂いた主な回答

トイレが和式で使いづらい／補助輪付きの練習場が狭い／屋根のある休憩場所／子供達が乗れるミニSLがほしい／活用されていないステージを見やすい場所に移動／キックバイクを練習したい／習熟度別の練習場所の確保／休憩しながら電車を見れる場所／大人向けの電動自転車の練習場／スケートボードの練習場所／カフェ・売店／自分の自転車を持ち込んで練習したい等

04 リニューアルコンセプト ・ 整備方針

現状や課題、区民の皆様の要望を整理し、リニューアルコンセプト及び整備方針を定めました。



～子どもをはじめ誰もがアクティブにチャレンジできるTraffic PARK～

■整備方針

再編：新しい時代に適したみどり豊かな交通公園

四季を感じられるみどり豊かな環境を活かすとともに、既存の設備を最新のものに更新し、利用者のやってみたいことを実現できる環境を整備する。

教育：交通を学ぶ場と日常的な活動の場が融合した交通公園

子どもだけでなく、子育て世代の保護者や高齢者まで、幅広い世代を対象とし、各々の日常的な遊びや散歩、休憩と合わせて実践的な交通ルールやバリアフリーを学ぶ場としての機能を強化する。

管理・運営：変化に柔軟に対応できる、持続可能で魅力的な交通公園

時代や利用者ニーズの変化に柔軟に対応するとともに、サービス向上に資する民間ノウハウの活用を図る。

05 エリアの分類

コンセプト及び整備方針に基づき、6つのエリア構成といたします。



■各エリアの特徴

① 練習エリア

主に幼児向けののりものの遊び（キックバイク）、自転車の練習や走行技術を習得する習熟度別に分けた練習エリア。

② のりものコース

自転車やゴーカートに乗り、現実に近い運転環境で交通ルールを遊びながら習得する周回コース。自転車専用レーン、一方通行、歩車分離式信号機のある交差点など、実際に区内にある交通規制を再現したコースを設ける。

③ 多目的広場

多様なのりものの遊び（一輪車など）に親しむ広場エリア。

④ 芝生広場

ステージや遊具を備えた芝生広場があり、イベント等の開催も可能なエリア。

⑤ 眺望エリア

人工地盤の上にある公園という立地を生かし、地域資源である隅田川、スカイツリー、鉄道等を見晴らすことができるデッキを備えたエリア。

⑥ 管理・休憩エリア

のりもの置き場、受付、トイレ、休憩室等を兼ね備えた管理棟や、キッチンカーを停車させることができる飲食エリア。

06 今後のスケジュール案

より魅力的な公園にリニューアルするため、民間活力導入に向けたサウンディング調査を実施した後、公園の設計や工事を行います。

令和6年度 令和7年度 令和8年度～令和11年度

・基本計画

・官民連携
手法の検討

・公募、事業者選定
・設計
・工事

令和11年度
リニューアル
オープン予定

※令和7年度業務において事業スキーム決定